

2026年5月21日

# 令和8(2026)年度 直鞍自動車産業研究会 総会

- 第一号議案 令和7(2025)年度事業報告
- 第二号議案 令和7(2025)年度決算報告
- 第三号議案 役員改選(案)
- 第四号議案 令和8(2026)年度 事業計画(案)
- 第五号議案 令和8(2026)年度 収支予算(案)

# 第一号議案 令和7(2025)年度 事業報告

## 1. 令和7(2025)年度総会

開催日： 令和7(2024)年5月26日（月）

場 所： エクセレントガーデン

- 第一号議案 令和6(2024)年度事業報告
- 第二号議案 令和6(2024)年度決算報告
- 第三号議案 令和7(2025)年度 事業計画(案)
- 第四号議案 令和7(2025)年度 収支予算(案)

を審議し、会員の過半数以上の承認を得る。

## 2.主な取組み

### (1) 人材育成・人材確保

#### ① 社員研修「管理監督者」

『人が育ち、定着する組織のつくり方』

- Z世代対応コミュニケーション〔マナー・接遇〕戦略 -

( 直鞍工業人クラブと共催 )

- 講師 ブルーミングスマイルズ 植村恵美氏
- 開催日 令和7年12月3日(水) 13:30～16:45
- 場所 直鞍産業振興センター別館 ● 参加者 20名



## ② カスタマーハラスメントセミナー ～企業に求められるカスハラ対策～

企業義務化へ対応するため、  
福岡県中小企業雇用環境改善支援  
センターと連携

### ● 講師

咲良美登事務所代表  
社会保険労務士 咲良美登理氏

### ● 開催日

令和7年11月17日(月)  
14:00～16:00

### ● 場所

直鞍産業振興センター別館

### ● 参加者 25名

 福岡県 福岡県中小企業雇用環境改善支援センター

企業向けセミナー

カスタマーハラスメントセミナー

～企業に求められるカスハラ対策～

顧客サービス向上と従業員のメンタルヘルスの両立を目指す県内中小企業に対し、  
カスタマーハラスメントをテーマに企業が取るべき対策等について考えるセミナーを開催します。

地区	開催日時	開催場所
筑豊地区	令和7年11月17日(月) 14:00～16:00	直鞍産業振興センター ADOX 福岡 別館 (直方市大字植木 8 4 9 - 1)
福岡地区	令和7年12月10日(水) 14:00～16:00	TKPエルガーラホール 多目的ホール 1 (福岡市中央区天神 1 - 4 - 2)

[対象] 県内事業所の経営者及び管理職 等

[定員] 各回30名  
※ 1 事業所 1 名  
※ 応募多数の場合、抽選により参加者を決定します。

[募集期間] 令和7年10月31日(金) まで

カスハラ対策  
企業義務化

令和7年  
労働施策総合推進  
法改正  
国会にて可決・成立(2025年6月4日)

参加費  
無料

### セミナー内容

- カスハラ被害の実態  
(カスハラとクレームの違い等)
- カスハラのパターンと対応例
- 実践企業の取り組み事例
- 質疑応答 等

### セミナー講師

咲良美登事務所 代表  
社会保険労務士  
咲良美登理氏



IT ベンチャーで技術者として勤務後、もっと人と関わりたいと退職。  
知識ゼロから4ヶ月で合格率7～10%の社労士試験合格、その後、健康食品  
のOEMトップメーカーに人事として入社。  
労務管理から、人事制度や福利厚生制度の改定、ハラスメント相談窓口、メン  
タル不調者サポート、研修企画・登壇、社長直轄業務等幅広く対応。管理職と  
してマネジメント業務も行う。  
独立後は講師、カウンセラー、コミュニケーションやハラスメント対策のコンサルタント  
として活動中。  
ハラスメント社外相談窓口 7社対応中

地域貢献活動評価項目  
加点対象セミナー

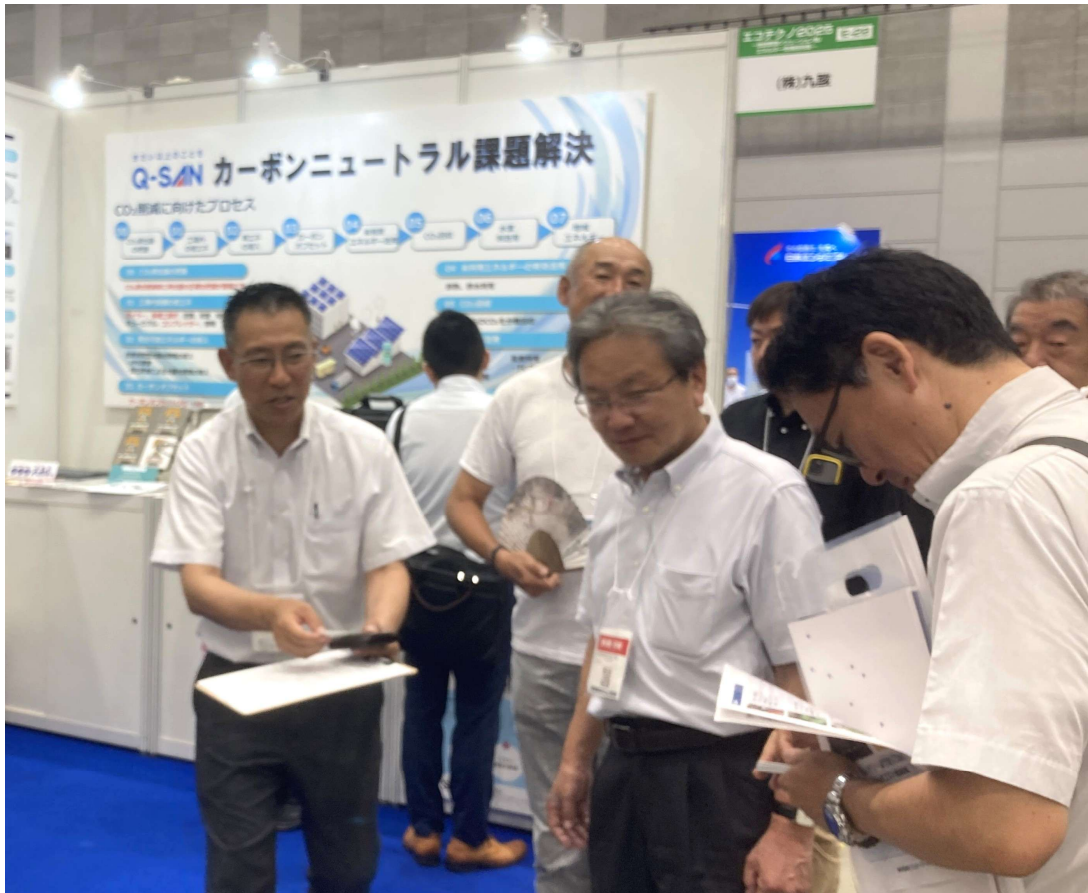
受講者の声、申込み・お問合せは裏面へ ➡

※審査基準日以前2年以内に受講が対象

## (2) 視察 (直鞍次世代産業研究会と合同)

### ①西日本総合展示会

「課題解決Expo2025」視察、「エコテクノ2025」等同時開催



- 開催日： 令和7年7月4日(金)
- 視察先：  
西日本展示場 新館(小倉北区)
- 参加者： 18名

## ② 静岡地域「先進企業視察会」

- 開催日： 令和7(2025)年11月4日(火)～5日(水)
- 視察先：
  - ① リョービ(株) 菊川工場 【ギガキャスト試作工場】
  - ② ヤマハ発動機(株) コミュニケーションプラザ 【歴史】
  - ③ 次世代自動車センター浜松 【世界のEV部品展示】
  - ④ 神谷理研(株) 西テクノ工場 【自動車などのメッキ】
  - ⑤ ハウス食品(株) 静岡工場 【自動生産ライン】
- 参加者： 9名



### ③ (株)タカギ、北九州次世代エネルギーパーク視察

(直轄次世代産業研究会と合同)

○ (株)タカギ (北九州市小倉南区堀越413)

【新しく開設した「新工場」の視察】

○ 北九州次世代エネルギーパーク (北九州市若松区向洋町10-20)

【R7に運用が始まった日本最大級の洋上風力発電の施設を視察】

●開催日: 令和年11月17日(月)

●参加者: 15 名



## (3)セミナー

### ①出前電動化道場

「地場中小企業に今後期待される技術と将来戦略を考える」



●開催日： 令和7年9月4日(木)  
13:30～16:00

#### 1. 特別講演

「CASEの波に乗れ！地場企業が勝ち残るシナリオ」

かながわ自動車部品サプライヤー支援センター  
チーフコーディネータ 柳原秀基氏

#### 2. 電動車部品展示

日産SAKURA等の主要部品展示と説明

#### 3. 自動車関連企業電動化支援センターの説明

●場 所： 直鞍産業振興センター別館

●参加者： 27名

## ② 生成AIを中小企業現場で活用する方法 ～ 実務で使える生成AIの使い方 ～

(直轄次世代産業研究会と合同)

●講師：福岡県よろず支援拠点 IT集客コンサルタント 原美穂氏

●日時：令和7年11月13日(木) 13:30～15:00

●場所：直轄産業振興センター(ADOX別館) 研修室

●内容：

- (1) 生成AIを使用する具体的事務処理
- (2) 製造・販売など現場で活用できる生成AIの活用法
- (3) AIに関連する業界の話、今後の進展

●参加者：35名



### ③ 「直鞍地域産業活性化セミナー」

(直鞍次世代産業研究会と合同)

#### (1) 新分野参入支援の取組

講師:福岡県 商工部 先端技術産業振興課

・半導体分野・宇宙分野に関する支援メニュー

#### (2) DX推進の取組

講師:福岡県 商工部 中小企業技術振興課

・福岡県中小企業DX推進センターの概要

・生産性向上設備導入補助金の概要

#### (3) 直方市の事業について

講師:直方市 商工観光課 工業振興係

●開催日: 令和8年2月12日(木)

●場 所: 直鞍産業振興センター  
別館

●参加者: 21名



### 3. 新年会・講演会 (直鞍次世代産業研究会と合同)

基調講演：「九電グループ経営ビジョン2035」と  
カーボンニュートラルへの取組み

- 講師 九州電力(株) 代表取締役 社長執行役員 西山 勝氏
- 開催日 令和8年1月23日(金) 17:00～20:30
- 場 所 エクセレントガーデン ● 参加者 47名



## 4. 会員企業への情報提供

国や県、市、各種支援機関などの支援情報をメールで、62回提供

### 内容

・セミナー開催案内:	111件
・補助金の案内:	22件
・その他:	18件
合計 :	151件

# 第二号議案

## 令和7(2025)年度 直鞍自動車産業研究会収支決算書

(令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日)

### 収入の部

(単位:円)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較 (B-A)	摘要
会費収入	340,000	310,000	△ 30,000	
補助金収入	0	0	0	
雑収入	500	1,302	802	利子
前年度繰入金	814,917	814,917	0	
合計	1,155,417	1,126,219	△ 29,198	

### 支出の部

(単位:円)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較 (B-A)	摘要
講師旅費・謝金	100,000	0	△ 100,000	セミナー講師費用
旅費交通費	36,000	0	△ 36,000	
総会費	250,000	86,988	△ 163,012	5/26総会費用
会議費	50,000	0	△ 50,000	
視察費用	200,000	144,320	△ 55,680	7/4「課題解決EXP2025」、11/4-5 静岡地域「先進企業視察会」、11/17 (株)タカギ北九州次世代エネルギーパーク視察
印刷製本費	30,000	26,400	△ 3,600	印刷費用
通信運搬費	80,000	62,445	△ 17,555	HP管理、郵送料等
使用料・賃借料	30,000	0	△ 30,000	
講習会・セミナー・新年会事業費	300,000	115,731	△ 184,269	次世代産業研究会との合同新年会
雑費	10,000	10,000	0	慶弔費
予備費	69,417	0	△ 69,417	
合計	1,155,417	445,884	△ 709,533	


収支差額	0	680,335		次年度へ繰越
------	---	---------	--	--------


# 監査報告

## 直鞍自動車産業研究会の監査について

2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)の事業報告、収支計算書及び通帳、領収書等について監査を行った結果、各々について妥当であることを認める。

2026年 4 月 21 日

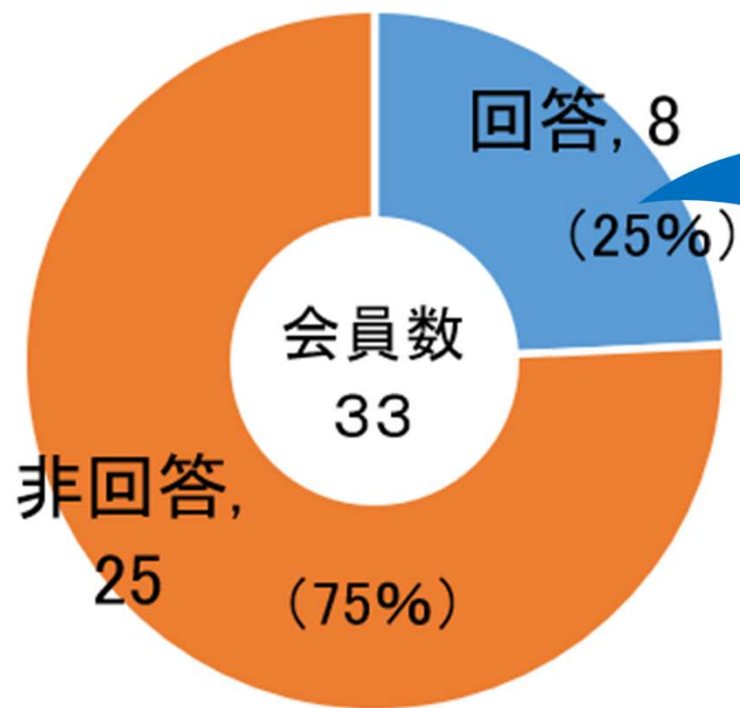
監 事 吉 田 祐 司 

監 事 勝 原 智 弘 

# 直鞍自動車産業研究会の「アンケート」

(令和7年度10月に直方市が実施)

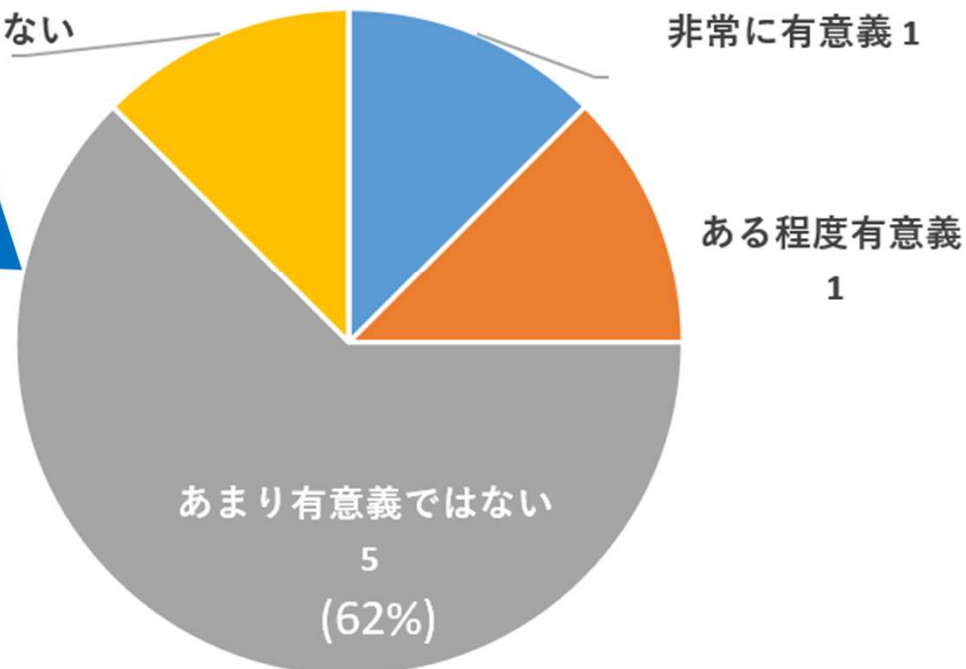
## アンケート回答率



Q1. 現在の直鞍自動車産業研究会の活動について、どのように感じていますか？

意義を感じない

1



**回答率が低い:**

研究会への**関心・興味がない状況**

**有意義ではない:**

研究会の取組み内容が、

**企業ニーズにマッチしていない状況**

# 直鞍自動車産業研究会の設立と現状

## 設立

### 福岡県「北部九州自動車生産拠点化構想」

単なる「工場立地」だけではなく、地域に「集積・発展」を実現する取組み

- ① 部品メーカーの誘致と地元企業の参入促進
- ② 地元調達率の向上 など

「直鞍自動車産業研究会」の設立：平成17(2005)年12月

目的：県の構想①②を受けて、自動車産業への参入とビジネス拡大を目指す企業を会員として設立（設立時：24企業、最大54企業）

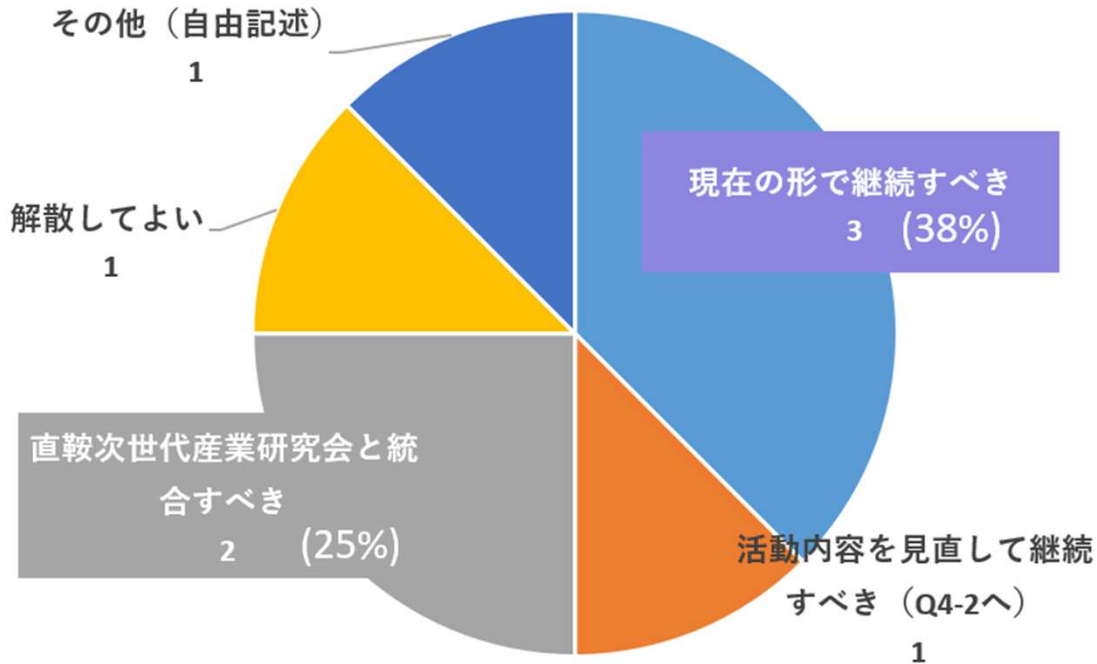
## 現状

### 福岡県「北部九州自動車産業グリーン先進拠点プロジェクト」

脱炭素、水素、SDV(コンピュータ制御の車)、電池集積などの取組み

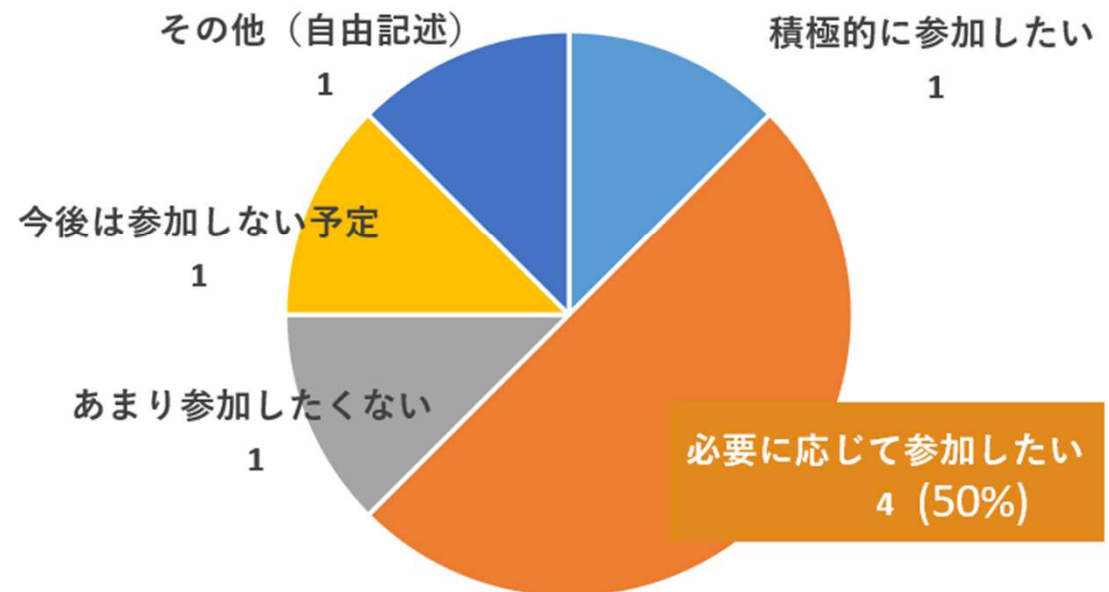
- ・「直鞍自動車産業研究会」の主旨であった①②が無くなると共に、産業環境が変化したことで、新たな参入などは極めて難しい状況となった（現状32企業）
- ・現状の研究会の内容では、企業メリットが殆ど無くなった状況

Q4. 今後、この研究会をどうすべきだと考えますか？



継続すべき・内容を見直して継続：**50% (半分)**

Q5. 今後もこの研究会に参加したいと思いますか？

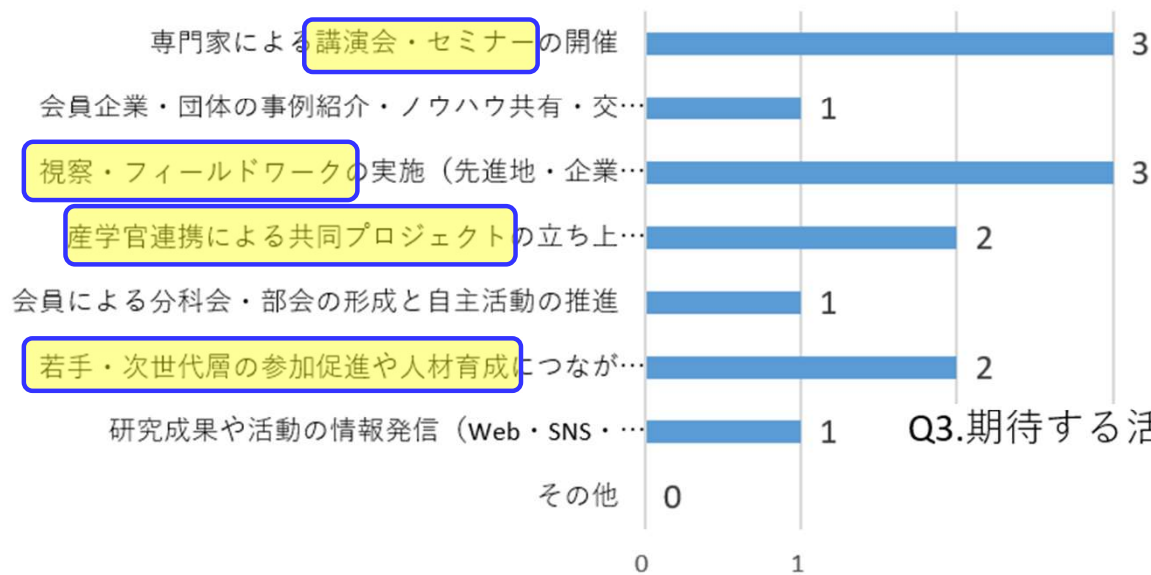


積極参加・必要に応じて参加：**63% (約2/3)**

必要に応じて：

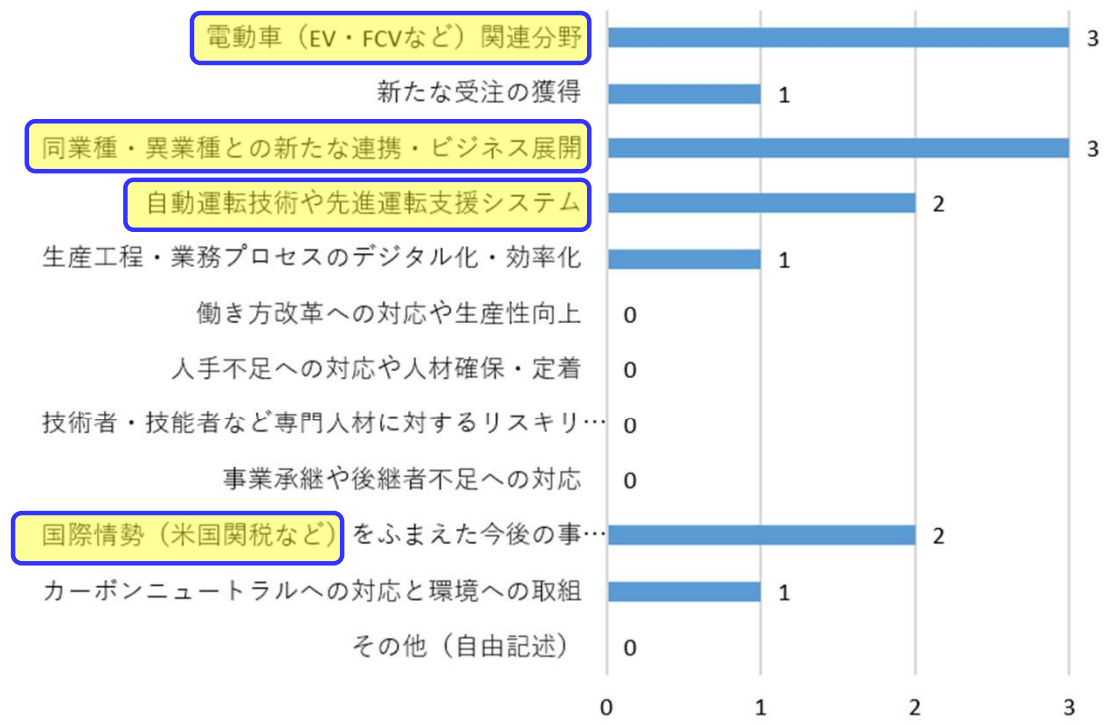
= **会社ニーズにマッチする内容であれば参加する**

Q2. 今後、研究会に期待する活動があれば教えてください。  
(3つまで選択可)



会員が求めるニーズ

Q3. 期待する活動の具体的なテーマがあれば教えてください。  
(3つまで選択可)



# 第三号議案 役員改選(案)

	旧	新
会 長	株式会社 紀之国屋 代表取締役社長 中村 大志	株式会社 紀之国屋 代表取締役社長 中村 大志 留任
副会長	直方精機 株式会社 代表取締役 藤永 勝巳 退任	株式会社 ウチダ 取締役統括部長 大原 大平 新任
	QEL 株式会社 取 締 役 松尾 隆英 退任	
顧 問	九州工業大学 情報工学部 教 授 榎原 弘之	九州工業大学 情報工学部 教 授 榎原 弘之 留任
	福岡県議会議員 香原 勝司	福岡県議会議員 香原 勝司 留任
	福岡県議会議員 花田 尚彦	福岡県議会議員 花田 尚彦 留任
監事	株式会社 ワイ・エム・シー 代表取締役 吉田 祐司	QEL 株式会社 取締役 松尾 隆英 新任
	福岡県商工部 自動車・水素産業振興課 課長補佐 藤本 隆顕 退任	福岡県商工部 自動車・水素産業振興課 課長補佐 勝原 智弘 新任

# 第四号議案 令和8(2026)年度 事業計画(案)

## 1. 基本方針

- ① 新規参入や受注拡大は大変厳しい状況なので、**会員ニーズがある内容を優先して取組む**
- ② R8年度の**会費は徴収せず、繰越金で運営する**
- ③ 繰越金は2年弱あり、**その間を『将来の検討期間』とする**
- ④ **県中小企業振興センターとの連携支援強化**

# 第四号議案 令和8(2026)年度 事業計画(案)

## 2. 具体的な取り組み計画

- ① 講演会： 総会・新年会での講演
- ② セミナー： 若手が参加できる内容や人材育成
- ③ 視察： 先進地・企業の視察等
- ④ 共同プロジェクトや課題解決支援： 補助金などの情報提供およびその獲得支援(ADOX)、生産性向上・現場改善、販路拡大・営業力強化、省エネ改善など
- ⑤ 新たなビジネス連携： 総会・新年会での交流、ADOX製造業ポータルによる取引きあっせん機能などの強化

# 第五号議案

## 令和8年度(2026年度)直鞍自動車産業研究会収支予算書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

### 収入の部

(単位:円)

勘定科目	令和7年度予算額 (A)	令和7年度決算額	令和8年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
会費収入	340,000	310,000	0	△ 340,000	会費 32事業所
補助金収入	0	0	0	0	
雑収入	500	1,302	500	0	利子
前年度繰越金	814,917	814,917	680,335	△ 134,582	
合計	1,155,417	1,126,219	680,835	△ 474,582	

### 支出の部

(単位:円)

勘定科目	令和7年度予算額 (A)	令和7年度決算額	令和8年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
講師旅費・謝金	100,000	0	50,000	△ 50,000	総会・セミナー講師費用
旅費交通費	36,000	0	20,000	△ 16,000	
総会費	250,000	86,988	100,000	△ 150,000	総会費用
会議費	50,000	0	10,000	△ 40,000	
視察費用	200,000	144,320	100,000	△ 100,000	バス費用等
印刷製本費	30,000	26,400	30,000	0	印刷費用
通信運搬費	80,000	62,445	70,000	△ 10,000	HP管理、郵送料等
使用料・賃借料	30,000	0	10,000	△ 20,000	
講習会・セミナー・新年会事業費	300,000	115,731	120,000	△ 180,000	講師謝金、旅費、会場費等
雑費	10,000	10,000	10,000	0	慶弔費、消耗品等
予備費	69,417	0	160,835	91,418	
合計	1,155,417	445,884	680,835	△ 474,582	

収支差額	0	680,335	0	0	
------	---	---------	---	---	--

ご審議、ありがとうございました。